

## ＜ 年 表 ＞

大正15年(1926)	10月22日	千歳村住民の手により飛行場造り開始、約2.5haが整地され飛行場誕生 小樽新聞社の「北海」第1号が着陸
昭和2年(1927)	2月	千歳村に飛行場設置の請願 貴衆両院において採択
9年(1934)	10月26日	千歳飛行場完成 約16ha
10年(1935)	8月18日	陸軍航空特別演習実施
11年(1936)	11月1日	陸軍北海道特別大演習実施
12年(1937)	10月8日	千歳航空基地起工式
14年(1939)	8月27日	毎日新聞社「ニッポン」号千歳飛行場より発進、アラスカ経由で世界一周飛行に成功
	10月1日	海軍千歳航空基地開設(769.2ha、滑走路1,200m×80m 1本)
17年(1942)	5月	町制施行
20年(1945)	8月15日	連山滑走路完成(2,500m×80m)
	10月5日	米第5航空軍の一部約200名が進駐
	10月5日	旧海軍施設と飛行場を占領財産として指定、用地約1,944haを接收
21年(1946)	4月	米陸軍第11空挺師団兵員約7,000名進駐
24年(1949)	4月	米陸軍第11空挺師団撤退 第7歩兵師団約7,000名進駐
	6月	防衛施設事務所設置
25年(1950)	5月	飛行場敷地が約1,050haに拡張され、滑走路(2,700m×45m)も整備される
	8月	警察予備隊発足
	8月23日	警察予備隊千歳臨時訓練所開設(札幌第二管区隊千歳臨時部隊3,750名)
26年(1951)	5月	米本国より「オクラホマ」第45歩兵師団朝鮮戦線に出動のため増強兵員12,000名駐留
	5月8日	閣議決定により民間航空と駐留軍との共同使用許可
	9月	民間航空開設(千歳空港が北海道空港に指定)
	10月26日	日本航空定期運行開始(千歳・羽田間1日1往復)
	11月16日	日航ターミナルビル竣工
	12月	警察予備隊 千歳から移駐
27年(1952)	1月1日	米陸軍第1騎兵師団兵員約12,000名駐留
	6月	警察予備隊千歳臨時部隊設置
	7月26日	行政協定に基づく在日合衆国軍隊に提供する施設としてFAC-1002キャンプ千歳とFAC-1003千歳小火器射撃場決定
	10月1日	警察予備隊法改正により保安隊千歳臨時部隊と改称
	11月15日	保安庁北部方面隊創設
	12月12日	保安隊千歳駐屯地開設(後の北千歳)
28年(1953)	5月	保安隊千歳臨時部隊を解隊し保安隊千歳駐屯部隊を新設 第2基地にASA通信施設設置
	10月	西側滑走路改良(2,700m×45m)
29年(1954)	7月1日	保安隊法改正により保安隊は自衛隊となり、陸上自衛隊は東千歳に移駐
	8月10日	全日本空輸が使用開始(東京～三沢～千歳間)
	8月25日	千歳駐屯地を北千歳駐屯地に名称変更、東千歳駐屯地開設業務隊を編成
	9月15日	特科団本部札幌から東千歳へ移駐
	9月23日	第11普通科連隊が東千歳駐屯地に移駐
	11月	米陸軍第1騎兵師団の主力撤退
30年(1955)	4月	第39米空軍師団管下の第4戦闘爆撃隊兵員約1,500名が三沢基地に撤収
31年(1956)	1月26日	第7混成団編成
	3月	沖縄から米軍ASA通信部隊移駐
	10月1日	航空自衛隊第2航空団が、浜松基地で編成(航空団を第1航空団と改称)
	12月	米軍第4昼間戦闘隊撤収

(「<年表>」の続き)

昭和32年(1957)	8月24日	航空自衛隊第2航空団第3、第4飛行隊浜松基地から主力移動完了
	9月2日	千歳基地発足(第3、第4飛行隊F-86F)管制分遣隊、気象分遣隊編成
33年(1958)	1月	米第5空軍第4戦闘爆撃隊三沢基地より移動完了
	4月28日	第2航空団に対領空侵犯措置任務付与(空自初)
	5月13日	第2航空団初のホットスクランブル
	7月1日	市制施行
	8月1日	第2航空団北部航空方面隊に編合
	9月	千歳空港の航空管制権米軍から日本へ返還
34年(1959)	2月1日	千歳救難分遣隊編成
	3月31日	FAC-1002キャンプ千歳補助施設は、米空軍から米陸軍に移管
	7月20日	FAC-1002 1基地約1,366haの大規模返還となり、飛行場は米軍から航空自衛隊第2航空自衛隊が引継ぎ使用(防空任務を米軍より完全移譲)
	8月1日	第2航空団にF-86Fによる第6飛行隊編成
	10月26日	第6飛行隊本部新田原基地に移動
35年(1960)	5月	東側平行滑走路新設に着手
36年(1961)	6月	防衛庁が管理する飛行場として告示
	6月9日	第2航空団第4飛行隊が本州(5月16日小松基地に)に移動し、新たにF-86Dによる第103飛行隊が、小松基地から移駐
	8月8日	第103飛行隊全日警戒態勢アラート任務
	11月	東側平行滑走路完成(2,700m×45m)
	12月1日	自衛隊との共用飛行場として告示
37年(1962)	1月1日	防衛庁による航空交通管制業務開始
	1月18日	第7混成団本部真駒内から東千歳へ移駐、特科団本部は東千歳から北千歳へ移駐
	2月	ラプコン(レーダー管制センター)完成
	3月22日	第2航空団に臨時F-104J訓練隊を編成
	7月11日	第24普通科連隊真駒内から東千歳に移駐
	8月15日	東千歳駐屯地の第7混成団が改編され、第7師団となる
	9月20日	F-104J初飛行
38年(1963)	3月2日	F-86Fによる第2航空団第3飛行隊は、松島基地に移動
	3月5日	F-104Jによる第201飛行隊を編成
	4月1日	千歳空港ビル完成
	8月24日	千歳基地にF-104の消音装置設置
39年(1964)	4月1日	対空誘導弾ナイキJを陸上自衛隊から航空自衛隊へ移管(第1高射群編成)
	6月25日	F-104Jによる第2航空団第203飛行隊を編成
	12月1日	第203飛行隊アラート任務
40年(1965)	6月18日	第201飛行隊アラート任務
	6月27日	千歳基地のスクランブル500回
41年(1966)	6月16日	ラプコン(レーダー進入管制装置)運用開始
42年(1967)	11月25日	千歳空港乗降客年間100万人突破
	12月20日	副滑走路を南側に422.6m、オーバーラン110m、着陸帯382.6m延長
43年(1968)	6月7日	第103飛行隊廃止(F-86D)
	12月12日	千歳小火器射撃場完成
	12月14日	主滑走路嵩上げ工事完成
44年(1969)	1月	千歳VORの運用開始(超短波全方向式無線標識)
	5月	千歳ILSの運用開始(計器着陸装置)
	10月	出入国港に指定
45年(1970)	5月14日	千歳基地のスクランブル1,000回に達する
	6月30日	第3高射群(地对空、ナイキJ、ミサイル部隊)千歳基地に編成
	12月	東側滑走路3,000mに完成供用開始
	12月28日	米軍クマ基地閉鎖

(「<年表>」の続き)

昭和46年(1971)	1月	千歳空港乗降客年間200万人突破
	7月1日	キャンプ千歳の共同使用等について政府間協定締結
	7月31日	第1陸曹教育隊を東千歳に創設(方面直轄)
47年(1972)	3月24日	第1高射団(対空誘導弾、ホーク集団)東千歳基地に編成される(昭和39年11月同基地内に設置された第1高射特科団の編成替え、昭和51年8月20日第1高射特科団と改称)
	12月20日	東側滑走路の幅員60mとなる
48年(1973)	12月24日	新千歳空港設置告示
	12月27日	航空機騒音環境基準告示
49年(1974)	8月1日	第1戦車団を編成
	10月1日	第201飛行隊解散(F-104J)
	10月1日	第302飛行隊編成(F-4EJ)
	12月1日	東亜国内航空、丘珠空港から千歳空港に移転
50年(1975)	3月10日	千歳飛行場が特定防衛施設として告示される
	6月30日	昭和47年に開設されたOTH基地の撤去により、戦後30年に及ぶ米軍の駐留も終わり完全撤退
	11月	新千歳空港着工
	11月1日	302飛行隊、アラート任務
	12月26日	新アラート・ハンガー(緊急発進待機格納庫)完成
51年(1976)	2月24日	74式戦車初の実戦配備(第7師団)
	10月15日	滑走路南方移動工事に着工
	10月22日	千歳飛行場開基50周年
52年(1977)	3月18日	第2航空団のスクランブル1,500回に達する
53年(1978)	3月20日	北千歳の第1特科団第126大隊美唄市に移駐
	12月1日	東側滑走路1,000m南方移動完成供用開始
54年(1979)	7月1日	検疫空港に指定
55年(1980)	5月	日本近距離航空使用開始
	8月18日	要撃機のミサイル搭載を開始
	10月1日	千歳空港駅開業
	10月	千歳基地に気象レーダー設置
56年(1981)	3月16日	千歳空港が植物防疫法および家畜伝染予防法による指定空港となる
	3月20日	税関空港に指定される
	3月25日	第7師団改編(機械化を機甲化に)、第1戦車団を解散、第1戦車群を編成
	7月9日	第2航空団のスクランブル2,000回に達する
	9月21日	東千歳駐屯地第1電子隊編成
57年(1982)	8月31日	日米地位協定による施設提供告示(東千歳駐屯地ほか)
	9月10日~18日	千歳においての初の日米共同訓練(陸)
	10月2日	日米地位協定による施設提供告示(千歳飛行場)
	10月18日~21日	千歳基地を拠点とした初の日米共同訓練(空)
58年(1983)	2月1日	航空自衛隊スクランブル10,000回(千歳基地2,453回)
	4月13日	F-15配備開始
	10月3日	日米地位協定による施設提供告示(追加)
59年(1984)	3月14日	第203飛行隊の改編(F-104J→F-15)
	6月21日	千歳基地に基地防空訓練隊編成
	12月1日	第203飛行隊アラート任務(F-104J→F-15)
60年(1985)	10月28日	千歳基地のスクランブル3,000回に達する
	11月26日	第302飛行隊(F-4EJ)が沖縄に移駐

(「<年表>」の続き)

昭和61年(1986)	3月19日	第201飛行隊編成
	5月16日	日米地位協定に基づき施設を追加提供(千歳飛行場)
	8月10日	千歳飛行場開基60周年
	9月26~31日	日米地位協定に基づき施設の提供条件変更(東千歳駐屯地ほか)
	10月20日	千歳基地に第1基地防空群編成(基地防空訓練隊解隊)
	10月27日	陸・海・空による初の統合実動演習
	12月1日	第201飛行隊アラート任務(F-15)
62年(1987)	3月31日	千歳基地に第8移動警戒隊編成
	7月1日	千歳基地ジェット燃料タンク爆発炎上
	8月18日	自衛隊と全日空機が千歳上空でニアミス
	10月	C経路泥土粉塵対策として戦車洗浄施設新設工事の着工(平成元年度竣工)
	11月27日	日米地位協定に基づき施設の提供条件変更(東千歳駐屯地)
	12月31日	千歳空港年間乗降客1,000万人突破
63年(1988)	3月25日	第7師団に化学防護小隊編成
	4月22日	日米地位協定に基づき施設を追加提供及び提供条件変更(千歳飛行場)
	6月20日	千歳基地新管制塔運用開始
	7月20日	新千歳空港開港
	7月22日	防衛施設庁施設部長と運輸省航空局飛行場部長との間で航空機騒音に係る防音工事等の周辺対策の覚書締結
平成元年(1989)	7月8日	新千歳空港ターミナルビル新築工事起工式
	8月29日	日米地位協定に基づき施設の提供条件変更(北海道・千歳演習場)
	12月	第203飛行隊のスクランブル1,500回に達する
2年(1990)	3月31日	第3高射群改編・ナイキシステムからペトリオットシステムへの換装完了 千歳基地に第3移動通信隊新設
	11月30日	第7師団司令部庁舎竣工
	12月6日	千歳基地司令部庁舎(200ビル)改修竣工
	12月21日	日米地位協定に基づき施設を追加提供(東千歳駐屯地)
3年(1991)	3月28日	政府専用航空機格納庫建設工事着工
	4月16日	千歳基地のスクランブル4,000回に達する
	10月7日	新千歳空港輸入食品届出窓口開設
	10月22日	F-15J型戦闘機標的曳航ワイヤー切断ミス事故 民家・工場・架線等被害
	11月14日	政府専用機駐機のため飛来
4年(1992)	3月27日	第1地对艦ミサイル連隊新編(第125特科大隊廃止)
	4月10日	臨時特別航空輸送隊新編
	6月29日	90式戦車配備開始
	7月30日	政府専用機格納庫完成
	11月2日	日米地位協定に基づき施設を追加提供(北海道・千歳演習場)
5年(1993)	5月18日	201飛行機スクランブル1,000回達成
	6月1日	航空自衛隊特別航空輸送隊編成完結
	12月14日	日米地位協定に基づき施設を追加提供(北海道・千歳演習場)
6年(1994)	4月20日	新千歳空港24時間運用に関する合意(1日最大6回)
	6月	札幌試験場空力推進研究施設の一部が東千歳駐屯地の隣接区に完成
	6月23日	新千歳空港24時間開港運用開始(国内初)
	7月1日	日米地位協定に基づき施設の一部返還(北海道・千歳演習場)
7年(1995)	6月27日	航空自衛隊千歳管制隊新ラプコン落成
	10月3日	日米地位協定に基づき施設の使用条件変更(千歳飛行場)
	10月6日	日米地位協定に基づき施設を追加提供(千歳飛行場)
	12月21日	日米地位協定に基づき施設を追加提供(東千歳駐屯地)

(「<年表>」の続き)

平成8年(1996)	3月29日	陸上自衛隊北千歳駐屯地129特科大隊新編完結
	4月26日	新千歳空港B滑走路供用開始(3,000m×60m)
	6月7日	日米地位協定に基づき施設の一部返還(北海道・千歳演習場)
	8月	千歳救難隊にMU-2に変わりU-125A配備
	9月27日	日米地位協定に基づき施設の一部返還及び追加提供(千歳飛行場)
	10月22日	千歳線開通・千歳空港開港70年記念式典
9年(1997)	3月17日	日米地位協定に基づき土地の一部返還(柏台演習場)約5,100㎡
	10月30日	日米地位協定に基づき施設の追加提供(千歳基地)建物約1,300㎡ 工作物、水道等
	12月2日	札幌試験場空力推進研究施設の燃焼風洞装置完成
10年(1998)	3月27日	日米地位協定に基づき施設の一部返還(千歳基地)建物約1,300㎡
	7月	第2基地防空隊及び基地防空教導隊が第2航空団に新設
	7月7日	日米地位協定に基づき土地の一部返還(東千歳駐屯地)約8,600㎡
11年(1999)	7月16日	日米地位協定に基づき施設の一部返還(千歳基地)建物約100㎡、 同じく施設の一部を提供(千歳基地)建物約100㎡
12年(2000)	3月	陸上自衛隊第7師団改編(コア部隊化・後方支援体制等)
	4月14日	日米地位協定に基づき施設の一部返還(千歳基地)建物約100㎡
13年(2001)	6月25日	F-4EJ改型機が民間施設に機関砲を誤発射
14年(2002)	3月27日	陸上自衛隊第7師団に第7化学防護隊創設
	6月23日	第1特科団創隊、北千歳駐屯地50周年記念行事
	8月27日	千歳飛行場東側滑走路整備工事(西側滑走路使用:H14.8.19~ H15.9.30)
	9月12日	千歳基地のスクランブル5,000回に達する
	10月22日	酒井飛行士ブロンズ像除幕式
15年(2003)	5月13日	日米地位協定に基づき施設の一部返還(北海道・千歳演習場) 土地904,463㎡
	7月8日	日米地位協定に基づき施設の追加提供(千歳飛行場)建物1棟274㎡
	7月30日	日米地位協定に基づき施設の一部返還(千歳飛行場)建物2棟274㎡
16年(2004)	1月6日	航空自衛隊千歳飛行場東側滑走路の表面隔離を確認
	11月4日	日米地位協定に基づき施設の追加提供(東千歳駐屯地) 建物5棟約11,441㎡
17年(2005)	2月7日	日米地位協定に基づき施設の追加提供(千歳飛行場)建物1棟223㎡
	3月5日	自走120mm迫撃砲の演習場外への弾着(北海道大演習場(島松地区))
	3月25日	日米地位協定に基づき施設の一部返還(東千歳駐屯地) 建物7棟の一部約9,076㎡
	5月18日	日米地位協定に基づき施設の一部返還(北海道・千歳演習場) 土地13,300㎡
	5月30日	日米地位協定に基づき施設の一部返還(千歳飛行場) 建物の一部約223㎡
	9月6日	航空自衛隊第2航空団所属F-15型戦闘機が空中接触
	12月	陸上自衛隊第7師団創隊50周年
18年(2006)	7月7日	「在日米軍再編に係る訓練移転」に対する判断(訓練の受け入れを表明)
	10月5日	日米地位協定に基づき施設の一部返還(千歳飛行場)建物2棟25㎡
	10月23日	千歳空港開港80周年記念(献花式)
19年(2007)	1月26日	「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する協定」締結
	3月27日	日米地位協定に基づき使用条件の変更(千歳飛行場)年間約4回を撤廃
	4月26日	日米地位協定に基づき施設の追加提供(千歳飛行場) 建物1棟の一部約240㎡
	5月	航空自衛隊千歳飛行場東側滑走路改修工事(11月末日まで) ※平成21年度までの3か年計画
	9月1日	防衛施設庁廃止、防衛省本省に統合

(「<年表>」の続き)

平成19年(2007)	9月2日	航空自衛隊千歳基地開庁50周年記念
21年(2009)	4月2日	日米地位協定に基づき施設の一部返還(千歳飛行場) 建物3棟約500㎡
		日米地位協定に基づき施設の追加提供(千歳飛行場) 建物3棟約450㎡
	6月30日	日米地位協定に基づき施設の追加提供(千歳飛行場) 建物2棟約450㎡
	7月1日	千歳基地のスクランブル5,555回に達する
	10月15日	米空軍アクロバットチーム「サンダーバズ」展示飛行
	10月23日	航空自衛隊千歳飛行場東側滑走路改修工事完了
	11月5日	日米地位協定に基づき施設の一部返還(東千歳駐屯地) 建物2棟約2,800㎡
	11月13日	日米地位協定に基づき施設の追加提供(東千歳駐屯地) 建物2棟約2,700㎡
	11月25日	航空自衛隊第2航空団所属F-15型戦闘機のエンジンの一部が不時落下
	11月26日	日米地位協定に基づき施設の一部返還(千歳飛行場) 建物3棟約500㎡
22年(2010)	2月5日	日米地位協定に基づき施設の一部返還(東千歳駐屯地) 建物1棟約830㎡
23年(2011)	1月27日	日米地位協定に基づき施設の一部返還(千歳飛行場) 建物1棟の一部約300㎡
	2月16日	日米地位協定に基づき施設の追加提供(千歳飛行場) 建物1棟の一部約300㎡
	4月21日	第1特科団第1特科群第103特科大隊改編(廃止)
	10月18日	千歳空港開港85年記念(献花式)
24年(2012)	6月13日	日米地位協定に基づき施設の一部返還(千歳飛行場) 建物2棟の一部約310㎡
	6月23日	第1特科団創隊、北千歳駐屯地60周年記念行事
	8月6日	航空自衛隊千歳飛行場誘導路整備工事(東側滑走路) ※8月6日～10月15日まで
25年(2013)	7月16日	日米地位協定に基づき施設の追加提供(東千歳駐屯地) 土地約8,800㎡
	8月5日	航空自衛隊千歳飛行場誘導路整備工事(東側滑走路) ※8月5日～10月22日まで
	9月2日	千歳基地のスクランブル6,000回に達する。
	10月22日	千歳航空協会設立50周年記念(献花式ほか)
26年(2014)	3月26日	第7師団は即応近代化師団へ改編
	8月9日	千歳航空管制無事故500万回達成
27年(2015)	8月22日	新千歳空港24時間運用に関する合意(1日最大30回)
	9月28日	陸上自衛隊第7師団創隊60周年
	10月1日	技術研究本部札幌試験場から防衛装備庁札幌試験場へ組織改編
	10月2日	特別航空輸送隊(政府専用機)は、平成27年9月25日から10月2日のフライトで任務運行通算300回を達成
	10月28日	第3高射群に地对空誘導弾ペトリオット(PAC3)を配備
28年(2016)	10月21日	空港開港90年献花式
	12月18日	オーストラリア空軍との部隊間交流 ※12月18日～12月22日、B-737×1機(豪州空軍政府専用機)
29年(2017)	1月13日	第7師団に10式戦車配備

(「<年表>」の続き)

平成30年(2018)	4月1日	防衛装備庁札幌試験場から防衛装備庁千歳試験場へ名称変更 NHK放送受信料の助成見直し
	4月18日	防衛装備庁千歳試験場改名式典
	9月6日	北海道胆振東部地震の発生(M6.7、最大震度7) 千歳市内最大震度6弱 日豪共同訓練(武士道ガーティアン18)中止 日米共同訓練(ノーザンヴァイパー)中止
	12月26日	千歳基地のスクランブル7,000回に達する。
平成31年 令和元年(2019)	3月26日	北千歳駐屯地 北部方面隊後方支援隊第102弾薬大隊 新編
	4月1日	新政府専用機(B777-300ER)運用開始
2年(2020)	5月25日	旧政府専用機(B747-400)お別れイベント
	3月26日	北千歳駐屯地 教育訓練研究本部訓練評価支援隊 新編
3年(2021)	7月19日	千歳基地航空祭中止
	7月18日	千歳基地航空祭中止
	10月22日	空港開港95年献花式
4年(2022)	10月26日	千歳市空港開港95年・民間航空再開70周年記念遊覧飛行
	6月26日	第一特科団創隊・北千歳駐屯地70周年記念行事
	6月29日	千歳航空管制無事故625万回達成
5年(2023)	7月31日	千歳基地航空祭再開
	3月15日	北部方面輸送隊(304・305輸送中隊除く)及び陸上自衛隊中央輸送隊第1方面分遣隊が真駒内駐屯地から東千歳駐屯地に移駐 第1特科団第1特科群第102特科大隊改編(廃止)